

各位

株式会社ヤマダホールディングス

**国内主要大会の上位入賞とパリ五輪を見据えた飛躍を遂げる 2023年
ヤマダホールディングス陸上競技部 新体制にて始動！**

ヤマダホールディングス陸上競技部は、今期、女子中長距離はプリンセス駅伝優勝、クイーンズ駅伝でのシード権奪還、そして男子トラック&フィールドはパリ五輪を見据えた世界大会日本代表選出と上位入賞を目指します。



▲（写真左より）後列：小田大樹、多田妃奈、星野輝麗、スーサン・カモソ、岡本春美、荻野実夕、柏村亮太、
前列：田中那奈、吉原莉胡、土田佳奈、小指有未、加藤詩帆加、筒井咲帆

■主要大会スケジュール（2023年度/予定）

4月	ロッテルダムマラソン TOKYO Spring Challenge 2023 第57回織田幹雄記念国際陸上競技大会	10月	特別国民体育大会 マラソングランドチャンピオンシップ（MGC） 第9回全日本実業団対抗女子駅伝予選会 （プリンセス駅伝）
5月	第38回静岡国際陸上競技大会 第10回木南道孝記念陸上競技大会 第56回東日本実業団陸上競技選手権大会 セイコーゴールデングランプリ陸上2023横浜	11月	第38回東日本女子駅伝 第43回全日本実業団対抗女子駅伝競走大会 （クイーンズ駅伝）
6月	第107回日本陸上競技選手権大会 仙台国際ハーフマラソン2023	12月	ディスタンスチャレンジ2023 第107回日本陸上競技選手権大会・10000m
7月	2023オールスターナイト陸上 ホクレン・ディスタンスチャレンジ2023網走大会 第36回南部忠平記念陸上競技大会 ホクレン・ディスタンスチャレンジ2023北見大会 第25回アジア陸上競技選手権大会 Athlete Night Games in FUKUI 2023 第20回田島直人記念陸上競技大会	1月	皇后盃 第42回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会
8月	富士北麓ワールドトライアル2023 第19回世界陸上競技選手権大会	2月	第107回日本陸上競技選手権大会・室内競技 第52回全日本実業団ハーフマラソン大会
9月	第71回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会 第19回アジア競技大会 Athletics Challenge Cup 2023	3月	

■女子中長距離



つつい さきほ
筒井 咲帆
①1996/01/19 (27)
②京都府
③乙訓高校
④10000m 31分36秒19
⑤日本選手権10000m 5位
キャプテン

昨年のクイーンズ駅伝での悔しさがあるので、今年はシード権の獲得とMGCで結果を出せるように練習に励みます。新入部員4人とは既に練習を開始していますが、若さも勢いもあるのでチーム全体が活気にあふれ、良いスタートが切れています。今年はクイーンズ駅伝に向けてチーム一丸となって頑張ります。



おぎの みゆ
荻野 実夕
①2000/09/12 (22)
②埼玉県
③豊川高校
④3000m 9分20秒54
5000m 16分04秒23



おかもと はるみ
岡本 春美
①1998/02/07 (25)
②群馬県
③常盤高校
④5000m 15分20秒56
⑤日本選手権10000m 4位



つちだ かな
土田 佳奈
①1998/01/11 (25)
②新潟県
③新潟明訓高校
→東京農業大学
④1500m 4分21秒40



ほしの るる
星野 輝麗
①2002/12/14 (20)
②茨城県
③常盤高校
④3000m 9分16秒49
5000m 15分53秒97



かとう しほか
加藤 詩帆加
①1999/04/07 (23)
②静岡県
③常葉菊川高校
→大阪学院大学
④10000m 33分24秒79



こざす ゆみ
小指 有未
①1997/08/01 (25)
②群馬県
③常盤高校
④3000m 9分23秒00
5000m 16分58秒65



すーさん かもそ
スーサン・カモソ
①2004/12/13 (18)
②ケニア
③大分東明高校
④3000m 8分50秒24
⑤全国高校総体陸上
3000m 8位
新加入



ただ ひな
多田 妃奈
①2004/05/03 (18)
②福岡県
③大分東明高校
④3000m 9分17秒39
5000m 16分07秒09
新加入



たなか なな
田中 那奈
①2004/10/16 (18)
②宮崎県
③小林高校
④800m 2分08秒63
⑤全国高校総体陸上
800m 準決勝進出
新加入



よしわら りこ
吉原 莉胡
①2004/05/27 (18)
②秋田県
③青森山田高校
④1500m 4分29秒99
3000m 9分38秒83
新加入

- ①生年月日 (年齢*2023年4月1日現在)
- ②出身地
- ③出身校
- ④自己ベスト
- ⑤主な戦歴



監督
たかぎ まさかず
高木 雅一

今年の個人の目標はマラソンのMGCと、世界選手権の日本代表、そして全員が各種目での自己新記録を狙っていきます。チームとしては、クイーンズ駅伝のシード権獲得を大きな目標として戦っていきます。練習に参加している新入部員の元気のよい姿に先輩達が触発されてチームにより一層活気が出てきました。



コーチ
よこやま けい
横山 景



シニアマネージャー
やまざき りょうじ
山崎 良次



マネージャー
はたけやま みゆ
畠山 実弓

◀ 新規加入メンバー紹介 ▶

*年齢：2023年4月1日現在

スーサン・カモソ KamochoSusan Wanjiku

- ・生年月日：2004年12月13日(18歳)
- ・出身地：ケニア
- ・出身校：大分東明高校
- ・ニックネーム：スーサン
- ・座右の銘：『unity is strength』
- ・自己ベスト：1500m 4分17秒06(2022)
3000m 8分50秒24(2022)
5000m 15分21秒51(2022)

- ・主な成績：全国高校総体陸上2022(3000m・8位入賞)
全国女子高校駅伝2020年(5区・4位)
全国女子高校駅伝2021年(5区・3位)
全国女子高校駅伝2022年(5区・2位)

選手コメント

もっと強くなるように頑張ります。応援よろしくお願いします。



多田 妃奈 Hina Tada

- ・生年月日：2004年5月3日(18歳)
- ・出身地：福岡県
- ・出身校：大分東明高校
- ・ニックネーム：ひな・ただちゃん
- ・座右の銘：『七転び八起き』
- ・自己ベスト：800m 2分15秒40(2019)
1500m 4分22秒36(2022)
3000m 9分17秒39(2022)
5000m 16分07秒09(2022)

- ・主な成績：全国女子高校駅伝2020年(2区・14位)
全国女子高校駅伝2021年(2区・10位)
第56回織田記念国際陸上競技大会(5000m出場)

選手コメント

感謝の気持ちを忘れず頑張ります。力強い、粘りのある走りを目指します。応援よろしくお願いします。



田中 那奈 Nana Tanaka

- ・生年月日：2004年10月16日(18歳)
- ・出身地：宮崎県
- ・出身校：小林高校
- ・ニックネーム：なな
- ・座右の銘：『努力は必ず報われる』
- ・自己ベスト：800m 2分08秒63(2022)
1500m 4分37秒25(2020)
3000m 9分31秒97(2021)
5000m 17分05秒59(2022)

- ・主な成績：全国高校総体陸上2021(800m・準決勝出場)
全国高校総体陸上2022(800m・準決勝出場)

選手コメント

走りて感謝の気持ちを表し、恩返しが出来るように何事にもチャレンジし、頑張ります。



吉原 莉胡 Riko Yoshiwara

- ・生年月日：2004年5月27日(18歳)
- ・出身地：秋田県
- ・出身校：青森山田高校
- ・ニックネーム：りこ
- ・座右の銘：『継続は力なり』
- ・自己ベスト：800m 2分13秒30(2022)
1500m 4分29秒99(2022)
3000m 9分38秒83(2022)

- ・主な成績：全国女子高校駅伝2021年(3区・12位)
全国女子高校駅伝2022年(2区・19位)

選手コメント

皆さんに感動を与えられるように、自分自身納得のいく走りができるように頑張ります。



■トラック&フィールド



- ①生年月日(年齢*2023年4月1日現在)
- ②出身地
- ③出身校
- ④自己ベスト
- ⑤主な戦歴



かしむら りょうた
柏村 亮太
(ハンマー投)

- ①1991/08/13 (31)
- ②鳥取県
- ③倉吉北高校
→日本大学
- ④72 m77 (日本歴代4位)
- ⑤日本選手権 優勝

昨年の前半は思うように動くことができず結果も伴わずでしたが、後半にしっかり立て直すことができ、狙い通りの結果を出すことができました。今年は世界大会に向けて今季前半から記録も順位も狙っていきたいです。



おだ だいき
小田 大樹
(走幅跳)

- ①1996/01/15 (27)
- ②山口県
- ③下関商業高校
→日本大学
- ④8m04
- ⑤日本選手権 2位

昨年前半は思うような試合ができずにいましたが、後半は5年振りに自己ベストタイ記録まで戻すことができました。今年はそのままの勢いで自己ベストを出して世界大会への出場を目指します。冬季練習も順調にこなしコンディションは良いので、あとは試合で結果を出すだけです。



監督
たなか ひろまさ
田中 宏昌

今年以降予定されている数々の世界大会への出場に向けて、今年は、日本代表の選考がかかるとても大事な一年となります。まずは、グランプリシリーズ(5月)や日本選手権(6月)等の国内大会でしっかり結果を出し、今後の国際大会出場につなげていくことが目標です。

■ヤマダホールディングス陸上競技部

2004年4月、株式会社みずほ銀行から女子陸上部を継承し「ヤマダ電機女子陸上競技部」を創設しました。2017年4月には、“女子中長距離”及び“トラック&フィールド”のチームからなる「ヤマダ電機陸上競技部」へ。そして、2020年10月、現在の「ヤマダホールディングス陸上競技部」に名称を変更、これまで、全日本実業団対抗女子駅伝(クイーンズ駅伝)や世界陸上等、国内外の数々の大会で活躍しています。

また、競技活動とあわせてスポーツ振興及び子供の健全な育成などを目的として、デフ陸上教室をはじめとする陸上教室や甘楽町さくらマラソン大会のゲストランナー等、様々なイベントに参加し、幅広く活動しています。

ヤマダホールディングス陸上競技部は、これからもスポーツ振興と地域貢献に取り組んでまいります。

*ヤマダホールディングス陸上競技部 HP : <https://www.yamada-holdings.jp/rikujou/>



《 主な大会成績（近年） 》

- | | | |
|----------|-----------------|-------|
| ・ 2022 年 | ： 日本選手権 ハンマー投 | 優勝 |
| | 国民体育大会 走幅跳 | 優勝 |
| | 全日本実業団対抗女子駅伝 | 12 位 |
| ・ 2021 年 | ： 東京五輪 400mH | 日本代表 |
| | 全日本実業団対抗女子駅伝 | 6 位入賞 |
| ・ 2020 年 | ： 日本選手権 400mH | 優勝 |
| | 日本選手権 ハンマー投 | 優勝 |
| | 全日本実業団対抗女子駅伝 | 6 位入賞 |
| ・ 2019 年 | ： ドーハ世界陸上 400mH | 準決勝進出 |
| | 日本選手権 400mH | 優勝 |
| | 全日本実業団対抗女子駅伝 | 13 位 |

以上

【発行元】株式会社ヤマダホールディングス 経営企画室 広報課

TEL : 027-345-8947 / FAX : 027-345-8948 / E-mail : ymd_kouhou@yamada-denki.jp

上記記載の情報は、2023 年 4 月 7 日現在の情報であり、今後予告なしに変更されることもありますので、あらかじめご了承ください。